

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております！

++ CONTENTS ++

- 【1】青銀会理事リレーエッセイ 第3回 理事 佐藤大吾
- 【2】特別賛助会員様主催イベントのご紹介
- 【3】VBからのお知らせなど
- 【4】学生会AzのVB訪問記
- 【5】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ
- 【6】編集後記

- #####
- 【1】青銀会理事リレーエッセイ 第3回 寄稿:理事 佐藤大吾
- #####

会員の皆様、平素は大変お世話になっております。
青い銀杏の会にて理事をつとめさせていただいております株式会社ヒューマン
デザインオーソリティの佐藤大吾と申します。

さて、このメルマガも今回で3回目を迎えました。
ベンチャー企業経営に興味関心をお持ちの皆様に対して、どのような内容をお伝えすべきか大変悩みましたが、思い切って今回は少しベンチャーのお話から離れてみたいと思います。

私は、ビジネスで活躍できる人材を育てることを業務とするヒューマンデザインオーソリティのほか、政治における体験学習(インターンシップ)プログラムを提供する「NPO法人ドットジェイピー」の経営も任せておりますことから、今回は「選挙」について書かせていただきたいと思います。

今年は4月に統一地方選挙、7月に参議院選挙と、実に12年に1度の大きな選挙イヤーとなります。

NPO法人ドットジェイピーでは、大学生が議員のもとで実務体験を行う「議員インターンシッププログラム」を提供しており、これまでに約5000人の学生を議員事務所に送り出してきました。

このNPOが特徴的なのは、約2ヶ月間のプログラムの中で生の政治に触れた学生たちの実に8割以上が、国や街をつくる政治の大切さに気づき、投票にいくようになるということです。さらには今まで政治にまったく関心のなかった学生が、投票だけでなく進路を変更し、議員を志すことも珍しくありません。

こうした学生たちの変化を目の当たりにしながら私が思うことは、「投票率が低いからといって、若者は政治離れしているわけではない。ただきっかけがなかっただけ。」ということです。

しかしながら20代や30代の投票率が他の世代と比較して低いことは事実です。選挙が近づくと、テレビや新聞で投票を呼びかける多くの記事や有識者のコメントが報道されます。しかし20代、30代の投票率はなかなか上がりません。それならば、ということで、2005年9月の総選挙より、このNPOとグロービスの堀社長をはじめ、いくつかの団体で「ベンチャー起業家たちが投票を呼びかけたら、若者たちは投票に行くのかもしれない」ということを考え、さっそく友人知人の経営者仲間に声をかけたところ、200人の若手起業家が趣旨に賛同してくださり、「選挙に行こう、YES!」という標語を掲げた「YESプロジェクト」というものが立ち上がりました。

- ホームページ → <http://www.yesproject.com>
- 発起人一覧 → <http://www.yesproject.com/hokkinin.html>

この200人の起業家たちが、今やすっかりおなじみになった「ブログ」や「SN

S」を活用して投票を呼びかけたところ、皆さんご承知のとおり、2005年9月の総選挙では結果として20代、30代の投票率はかなり上がりました。

果たしてYESプロジェクトの効果がどの程度あったかはわかりませんが(笑) 20代、30代の人たちにとって、起業家たちは相当影響力を持っているのだなあ、ということはこの活動による若年層の盛り上がりを拝見して強く実感しました。

ベンチャー企業を経営していく上でも、どのような分野に重点をおくか、どういう方針で国際競争に立ち向かっていくかといった国や地域が掲げる政策はとても重要なことだと思います。

そしてその政策は選挙によって選ばれた国会議員や地方議員が決定するものであるということを考えると、私たち企業に身をおく者にとりましても、選挙は無視できないものだな、と考えます。

目前に迫った4月、まずは僕自身がこれまでより少し関心を高めて投票にいきたいと思います。

▼ご参考

NPO法人ドットジェイピー <http://www.dot-jp.or.jp>

本部 東京都港区、理事長 佐藤大吾、1998年設立。全国の大学生170名が中心となり、「若年投票率の向上」を目的に活動するNPO。学生が一定期間、議員事務所や公官庁にて、政策立案過程や行政のあり方などについて就業体験を積むインターンシップ・プログラムを提供。これまでにのべ2238の議員事務所と5237名の学生が参加。

またヤフー株式会社が提供する「Yahoo!みんなの政治」

(<http://seiji.yahoo.co.jp/>)に、議員・議案情報を提供する。

週刊コミックパンチ(新潮社)誌上にて漫画「タネダミキオでございます」を連載中。(2007年3月19日時点)

#####

【2】特別賛助会員様主催イベントのご紹介

#####

◎あずさ監査法人◎

★ 3市場セミナー ～新規上場の主要3市場紹介とIPOの現状～★

多くの中堅企業にとって株式上場とは、事業拡大、企業体質の強化など重要な経営戦略と位置付けられるものであり、多くの企業が新規上場を目指しています。平成18年では、新規上場会社数が昨年より30社多い188社となり、インターネット関連企業の新規上場に沸いた平成12年の204社に次いで過去2番目に多くなりました。

このような中で、私どもあずさ監査法人では主要3市場から講師をお迎えし、各市場での現状と今後についてお話いただく場を設けました。株式上場を目指す企業の方々にとりましては、各市場を比較検討できるため、自社に適した市場を選択する一助になるものと存じます。

また、各市場のご講演の前に、当法人から最近の新規上場の状況を概括的に講演いたします。各市場の個別のお話を聞く上で、皆様にとりまして十分なご参考になるものと考えております。

将来的に株式上場を志向されているオーナーの皆様、また上場をご計画中の担当役員や実務担当者の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

あずさ監査法人HP <http://www.azsa.or.jp/serviceline/ipo.html>より抜粋

■日 時: 2007年4月10日(火) 13:30～17:00

■会 場: 秋葉原コンベンションホール2階(千代田区外神田1-18-13)

■参加費: 無料

■定 員: 300名

■詳 細: http://www.azsa.or.jp/b_info/event/event070410.html

時代が大きな変革のときを迎えている今、旺盛な起業家精神を持つベンチャー企業の目前には、広大なフロンティアが広がっています。しかし、その起業家精神を、確実にビジネスに結びつけていくには、マーケットニーズへの的確な視点、優れた商品やサービスはもちろんのこと、安定した資金調達や人材の確保、販路の拡大など、経営戦略上のさまざまな課題をクリアしていくことが不可欠です。

資金の供給のみならず、経営課題を乗り越えるために必要な知識と経験を提供することこそが、ベンチャーキャピタルが果たすべき役割であると、私たち日本ベンチャーキャピタル(NVCC)は考えます。

NVCCは、自らベンチャー企業を興し、現在、各分野で成功をおさめている事業家や、ベンチャー支援に熱意を持つ大手企業などが結集した、これまでとは異なる支援型の本格的なベンチャーキャピタルです(1996年設立)。

各専門分野の経験豊かな事業家たちの協力のもとに、わが国の次世代を担う起業家・ベンチャー企業に対して、中立的なスタンスで多面的に応援してまいります。

2003年には、投資対象を大阪大学発ベンチャー企業に特化した「阪大イノベーションファンド」を設立致しました。これまで累計15社に投資を実行し、資金面のほか、様々な経営支援を実施してきております。阪大発ベンチャーの新規設立、および設立済みベンチャーに於かれましての資金調達など、相談したい事項がございましたら下記宛に何なりとお問い合わせ下さい。

今後とも日本ベンチャーキャピタル株式会社、そして阪大イノベーションファンドを宜しくお願い申し上げます。

日本ベンチャーキャピタル(株) 西日本支社
ベンチャーキャピタリスト 鶴飼 康史
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-2-20 洪庵日生ビル
TEL : (06)6231-2149 E-Mail: ukai@nvcc.co.jp
NVCC HP : www.nvcc.co.jp
阪大ファンドHP : www.crcast.osaka-u.ac.jp/innovation_fund/

#####

【3】VBからのお知らせなど

#####

◎青い銀杏の会メールマガジン編集部では、会員企業様からのコメントやVB紹介文、お知らせをお待ちしております。
会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願いいたします。

◆メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

♪ ♪ ♪ #####

【4】学生会Azのベンチャービジネス訪問記 === vol.2 ===

b b b

メド・ソリューション株式会社～医用画像解析を通じ、医療・創薬を支援～

メド・ソリューション株式会社は、大阪大学医学系研究科教授・上甲剛氏の技術シーズをもとに2003年に設立された。
『最新の高画質な高精細3D画像作成・医用画像解析技術を通して、医療の現場に付加価値を提供する』を合言葉に
・新薬の治験の評価方法等の支援サービス
・医療用ソリューション技術提供によるコンピュータ手術支援サービス
・医療機関・検診施設の付加価値向上支援サービス
といった事業展開を図っている。

~~~~~  
◇続きは下記URLから！

~~~~~

#####

【5】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

#####

★次世代医療システム産業化フォーラム2007』参加企業募集のご案内

- 時 期:2007年4月～2008年3月(定例研究会:全12回+特別例会)
- 会 場:大阪商工会議所(大阪府中央区本町橋2-8)他
- 参加費他、詳細はこちら <http://www.osaka.cci.or.jp/med-device>

▼△▼△

★大学発ベンチャー活性化シンポジウム ～大学発ベンチャーの持続的な発展に向けた新たな展開～

- 会 期:2007年4月9日(月) 13:30～17:50
- 会 場:丸ビルホール(東京・丸の内)
- 参加費:無料(交流会は2,000円)
- 定 員:300名
- 詳 細:<http://jst-entry.homeip.net/entry/>

▼△▼△

★びわ湖環境ビジネスメッセ2007 出展のご案内

- 会 期:2007年10月24日(水)～26日(金)
- 申込締切:2007年6月15日(金)
- 会 場:滋賀県立長浜ドーム
- 出 展 料:10万円～
- 詳 細:<http://www.pref.shiga.jp/event/messe/>

▼△▼△

★『委託開発』課題募集!

「委託開発」は大学や公的研究機関等の研究成果で、特に開発リスクの高い物について企業に開発費を支出して開発を委託し、実用化を図っています。

- 公募期間:2007年3月5日(月)～5月8日(火) [1次締切]
2007年5月9日(水)～7月31日(火) [2次締切]
- 開 発 費:1～20億程度
- 開発期間:2～7年程度
- 詳細情報:<http://www.jst.go.jp/itaku/>

▼△▼△

★『革新的ベンチャー活用開発』課題募集!

「革新的ベンチャー活用開発」は、研究開発型ベンチャー企業(設立登記後10年以内かつ資本金10億円以下の非上場企業)が行う大学等の研究開発成果の実用化を支援します。

- 公募期間:2007年3月5日(月)～6月1日(金)
- 開発経費:年間3千万程度
- 開発期間:2～5年程度
- 詳細情報:<http://www.jst.go.jp/kaku-ven/>

▼△▼△

★セキュリティ・ソリューション フォーラム2007 ～今、企業に求められる情報セキュリティのあり方とは～

- 会 期:2007年4月12日(木)

- 会 場: 目黒雅叙園(東京都/目黒区)
- 参加費: 無料
- 定 員: 400名
- 詳 細: <http://ac.nikkeibp.co.jp/nc/sec13/>

▼△▼△

★医薬品・医療機器実用化研究支援事業(研究委託事業)の
平成19年度研究テーマの募集について

- 公募期間: 2007年3月9日(金)～4月6日(金)
- 開発年度: 3年間
- 詳細: <http://www.nibio.go.jp/shinko/H19koubo.html>

▼△▼△

★平成19年度「橋渡し研究支援推進プログラム」の実施機関等の公募について

- 公募期間: 2007年3月22日(木)～4月19日(木)
- 公募分野: 橋渡し研究支援推進プログラム
- 開発年度: 5年間
- 詳細: <http://www.jst.go.jp/keytech/kouboh19-4.html>

【6】

～編集後記～

第3回メールマガジン、いかがでしたでしょうか？今月、学生部会を立ち上げた第一期の先輩方が卒業し、それに伴いましてメルマガの編集員も代替わりとなりました。

今まで何事にも意欲的に挑戦し、いつでも優しくフォローを下さったAzの先輩方、そして現在 社会の第一線で活躍しておられる青銀会会員の先輩方の背中を見ておりますといつか私もこうなれればと言う期待と、高い目標ゆえの不安が入り混じった不思議な気持ちに駆られます。

私自身は学生部会に入ってからまだ日が浅く未熟者であります。
が、だからといって時は、人は、目標は…未熟者の成長を待ってくれる訳ではありません。私も将来こうなれればと言う期待ではなく、こうなって見せるという気概を持ってこれからの物事に取り組んでいければと思っています。

まだまだ至らぬ点が見られるかもしれませんが、青銀会及び学生部会Azの末席として少しでも貢献していければと思っておりますのでこれからもよろしくお願い致します。

(青柳)

- 発行責任者: 特定非営利活動法人青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
- 編集: 青い銀杏の会 学生部会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>
- メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
- このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
- Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.